

その他教育研究活動の状況に関すること

■国際交流事業・海外の協定相手校

1. 東京医療保健大学では、本学の教育目標に基づき、実践を重視した教育・研究の充実・発展を図るため、国際的通用性の高い教育・研究を組織的に推進することとした「国際交流に関する基本方針」を定めています。

これにより、教職員・学生に係る海外派遣・海外研修を積極的に推進すること、海外からの受入れを積極的に行うとともに、これを通して本学の国際化を推進すること、海外の大学等との国際交流協定の締結を推進することとしています。

2. 本学においては、毎年度、医療保健学部看護学科・医療栄養学科・医療情報学科及び東が丘・立川看護学部看護学科の合同による海外研修を実施しております。平成23年度においては、64名の参加によりハワイ大学における研修を6泊8日の日程（平成24年3月12日（月）～3月19日（月））で実施いたしました。

海外研修は、学生たちにとっては、海外の医療事情や取り組みについての知見を深め、現在及び将来における我が国の医療や自己の将来の職業的可能性などについて広い視野で考える機会となっており、今後も継続して実施いたします。

3. また、医療保健学部医療情報学科においては、平成19年度から毎年度米国ワシントン州の州立大学、諸医療施設において、医療情報専門研修を実施しております。医療情報システムの活用が進むアメリカにおける先進的取り組みを通じて、今日の医療において医療情報が担っている役割、果たすべき役割、またその重要性について学習することを目標としており、この研修を通じて学生の学習意欲が向上するとともに、新たな研究テーマの発見などにもつながっております。

4. なお、今後は、海外研修の実績を踏まえるとともに海外からの受け入れや交流の活発化を図ることにより国際交流協定の締結を検討してまいります。

■産官学連携事業

東京医療保健大学は建学精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」に則り、「時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える医療関係の課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決できる人材の育成」を教育目標としており、教育、研究とともに社会貢献を本学の重要な使命としており、「社会連携・協力に関する基本方針」に基づき、教育・研究の充実・発展を図るため、産・学・官等との共同研究及び受託研究を積極的に推進するとともに、その成果を社会に公表することとしております。

本学における産学官連携に関する取り組みとしては、本学の教育研究に有意義であり、業務に支障を来たすおそれがないと認められる場合に、外部からの委託を受けて業務として行う受託研究を積極的に受け入れております。＜受託研究の概要（平成21年度～平成25年度）＞

○受託研究に要する経費は、委託者が負担します。受託研究費の額は、研究担当者による研究に必要な直接経費の額と本学の管理等に必要な間接経費相当額（直接経費の10%に相当する額）の合計額となります。ただし、国、地方公共団体等からの受託研究で、これにより難しい場合は、この限りではありません。

○受託研究の契約期間は、原則として3か月以上で5年を超えないものとしています。

○受託研究が終了したときは、契約に定める期限までに研究経費の支出実績を含めた研究成果報告書を委託者に提出します。また、受託研究の成果は公表することを原則としていますが、その公表が委託者の業務に支障を生じるおそれがあると認められる場合は、この限りではありません。

■大学間連携事業

東京医療保健大学においては、大学間連携事業は、現在、特に取り組んでおりませんが、教育研究面での幅広い大学間の連携については、今後の検討課題としております。

東京医療保健大学の国際交流に関する基本方針

- 本学は建学精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」に則り、「時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える医療関係の課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決できる人材の育成」を教育目標としている。
- この教育目標に基づき、実践を重視した教育・研究の充実・発展を図るため、国際的通用性の高い教育・研究を組織的に推進することとし、「国際交流に関する基本方針」を次のとおり定める。
 - 1、教職員・学生に係る海外派遣・海外実習を積極的に推進するとともに、海外派遣・海外実習プログラムの充実を図る。
 - 2、海外からの教職員・学生の受け入れを積極的に行うとともに、これを通して本学の国際化を推進する。
 - 3、海外の大学等との国際交流協定の締結を推進する。
 - 4、全学的な重点プロジェクトに沿って国際共同研究の推進を図るとともに、国際的シンポジウム等の企画・実施を図る。
 - 5、国際交流に係る事業実施及び推進に伴う経費については、補助金その他の外部資金の確保に努める。

海外研修の実施状況（平成 18 年度～）

区分	実施年度	訪問地	訪問先 (医療施設、大学等)	内容
全 学	平成 18 年度	カナダ バンクーバー ビクトリア (6泊8日)	○ロイヤル・ジュビリー。 ○セント・ポール。 ○バンクーバー・ジェネラル病院。 ○ビクトリア州立大学。 ○カモソンカレッジ。 ○フレーザー保健局。	・カナダの医療制度。 ・カナダの医療における医療 IT 技師・看護師・管理栄養 士の役割。 ・保健局の役割。
	平成 19 年度	カナダ バンクーバー ビクトリア (6泊8日)	○ロイヤル・ジュビリー。 ○セント・ポール。 ○ブリティッシュ・コロンビア 大学病院。 ○ビクトリア州立大学。 ○フレーザー保健局。	・カナダの医療制度。 ・カナダの医療における医療 IT 技師・看護師・管理栄養 士の役割。 ・保健局の役割。
	平成 20 年度	カナダ バンクーバー ビクトリア (5泊7日)	○セント・ポール。 ○ロイヤル・ジュビリー。 ○ビクトリア州立大学。 ○カナダ医療情報センター。	・カナダの医療制度及びその 問題点。 ・カナダの病院における医療 IT 技師・看護師・管理栄養 士の役割。 ・看護教育制度及び医療情報 教育制度。 ・医療情報センターの役割。
	平成 21 年度	アメリカ ハワイ州 ホノルル (6泊8日)	○ハワイ大学医学部、看護学部、 栄養学部。 ○クアキニ医療センター。 ○クィーンズ医療センター救命セン ター。 ○トリップラー陸軍医療センター。 ○クアキニ・ナーシングホーム。	・アメリカの医療制度。 ・アメリカの看護・栄養・医療 情報の最近の傾向。 ・医療 IT 機器実習、医療 IT プログラムデモ。 ・大学の授業見学、学生との 交流。 ・アメリカの栄養士の職域と 役割。 ・さまざまな医療職の役割。 ・遠隔医療見学、医療英語 レッスン、介護施設慰問等。 ・座学だけでなく実習、大学 の授業を体験、また慰問を通 じた現地の高齢者との交流。

区分	実施年度	訪問地	訪問先 (医療施設、大学等)	内容
全 学	平成 22年度	東日本大震災 のため中止		
	平成 23年度	アメリカ ハワイ州 ホノルル (6泊8日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ハワイ大学医学部シミュレーション研究センター、 看護学部、社会学部。 ○シャミナーデ大学看護学部。 ○クィーンズ医療センター。 ○シュライナーズ小児病院。 ○クアキニ・ナーシングホーム。 ○クアキニ医療センター。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの医療の現状と課題。 ・アメリカにおける医療安全の最近の動向。 ・ハワイ原住民の歴史と健康。 ・アメリカの看護教育。 ・ハワイの救急医療システム。 ・ハワイの公衆食育活動。 ・病院管理栄養士の仕事及び厨房見学。 ・医療ITの動向。 ・遠隔医療による慢性疾患管理。 ・病院見学、シミュレーションセンターでの演習等。

区分	実施年度	訪問地	訪問先 (医療施設、大学等)	内容
看護学科	平成18年度	アメリカ ワシントン州 シアトル (11泊13日)	○シアトル・パシフィック大学 保健科学学部。	・大学での各種講義及び 関連医療施設での 講義・見学を通じて、 アメリカの医療制度、 看護制度、看護師の役割 拡大のあり方等を学習。
医療情報 学科	平成19年度	アメリカ ワシントン州 シアトル、タコマ (12泊14日)	○タコマコミュニティカレッジ。 ○ノースウエスタン大学。 ○セントジョセフ医療センター。 ○国立VA医療センター。 ○エバーグリーン医療センター 等。	・アメリカの医療制度 全般。 ・アメリカにおける医療IT 活用状況と医療IT技師 が果たす役割・重要性。 ・座学だけでなく実践を 通じた体験。
	平成20年度	アメリカ ワシントン州 シアトル、タコマ (13泊15日)	○タコマコミュニティカレッジ。 ○州立ワシントン大学。 ○セントジョセフ医療センター。 ○国立VA医療センター。 ○エバーグリーン医療センター 等。	・アメリカの医療制度 全般。 ・アメリカにおける医療IT 活用状況と医療IT技師 が果たす役割・重要性。 ・ITと医療の質改善。 ・テレフォントリアージと 医療IT、等。 ・座学だけでなく実践を 通じた体験。
	平成21年度	アメリカ ワシントン州 シアトル、タコマ (13泊15日)	○シアトル大学看護学部シミュレーションセンター。 ○セントジョセフ医療センター。 ○国立VA医療センター。 ○エバーグリーン医療センター。 ○グループヘルス 等。	・アメリカの医療制度全般 と医療IT最新事情。 ・アメリカにおける医療IT 活用状況と医療IT技師 が果たす役割・重要性。 ・データ収集・分析と医療 の質改善。 ・テレフォントリアージと 医療IT。 ・患者用電子カルテ、テレ ヘルス等。 ・座学だけでなく実践を 通じた体験。

区分	実施年度	訪問地	訪問先 (医療施設、大学等)	内容
医療情報学科	平成22年度	アメリカ ワシントン州 シアトル、タコマ (12泊14日)	○タコマコミュニティカレッジ。 ○セントジョセフ医療センター ○国立VA医療センター ○エバーグリーン医療センター ○グループヘルス 等。	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの医療制度全般と医療IT最新事情。 ・アメリカにおける医療IT活用状況と医療IT技師が果たす役割。 ・全米医療カルテ化の動向。 ・テレヘルス、在宅ケアに関する医療情報の導入。 ・模擬電子カルテへの入力、遠隔手術ロボットの操作体験等、座学だけでなく実践を通じた体験。
	平成23年度	アメリカ ワシントン州 シアトル、タコマ (11泊13日)	○タコマコミュニティカレッジ。 ○セントジョセフ医療センター ○国立VA医療センター ○エバーグリーン医療センター ○グループヘルス 等	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの医療制度全般と医療IT最新事情。 ・アメリカにおける医療IT活用状況と医療IT技師が果たす役割。 ・全米医療カルテ化の動向 ・テレヘルス、在宅ケアに関する医療情報の導入。 ・模擬電子カルテへの入力、遠隔手術ロボットの操作体験等、座学だけでなく実践を通じた体験。

東京医療保健大学の社会連携・協力に関する基本方針

- 本学は建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」に則り、「時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える医療関係の課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決できる人材の育成」を教育目標としており、教育、研究とともに社会貢献を本学の重要な使命としている。
 - この教育目標及び使命に基づき、医療系の大学として教育・研究の充実・発展を図るとともに、医療・健康・保健面での社会貢献を積極的に推進し、地域との連携・協力を組織的に推進するため、「社会連携・協力に関する基本方針」を次のとおり定める。
- 1、本学の教育・研究に係る成果を基にした社会へのサービス活動及び社会貢献の一環として、地域の区等との連携・協力により医療・健康・保健をテーマとした公開講座を積極的に開催する。
 - 2、医療系の大学に学ぶ学生として、社会貢献・社会活動に関する意識の涵養を図り地域社会との交流を深めるため、医療等に関わるボランティア活動及び地域の行事等に参加して地域との交流を深める活動等への積極的な参加を推進する。
 - 3、教育・研究の充実・発展を図るため、産・学・官等との共同研究及び受託研究を積極的に推進するとともに、その成果を社会に公表する。
 - 4、本学の教育・研究の活動状況等について、ウェブサイト等による情報公開を積極的に推進するとともに、社会からの意見・要望等を真摯に受け止め適切な措置を講ずることとする。
 - 5、地域社会に開かれた大学として大学の施設の開放及び図書館利用の拡充に努める。
 - 6、本学は、医療・健康・保健面において地域を指向した教育研究活動を推進するとともに、地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての機能強化を図る等、医療系の大学として社会の活性化に資する役割を担うこととする。

附則 この基本方針は平成 23 年 12 月 7 日から施行する。

附則 この基本方針は平成 26 年 7 月 16 日から施行する。

受託研究の概要（平成21年度～平成25年度）

（平成21年度）

単位：円

受託研究の内容	委託先	受託教員	受入金額
真空調理の特性を活かした咀嚼機能の低下した高齢者食品の開発	団体	医療栄養学科 教授 峯木 真知子	1,000,000
床下空調と通常の天井型空調における生体影響の調査	企業	医療情報学科 准教授 山下 和彦	400,000
医師事務作業補助体制の推進を目的とした病院情報システムの標準的運用マニュアル構築	団体	医療情報学科 助教 瀬戸 僚馬	764,000
計 (3件)			2,164,000

（平成22年度）

単位：円

受託研究の内容	委託先	受託教員	受入金額
カロリーコントロールカレーの血糖値、インスリンなどに及ぼす二重盲検比較研究	企業	医療栄養学科 教授 下田 妙子	1,260,000
ワクチン啓蒙ポータルサイト構築	団体	医療情報学科 准教授 山下 和彦	300,000
病棟業務支援システムにおける標準的統計機能のモデル構築	企業	医療情報学科 助教 瀬戸 僚馬	288,750
医師事務作業補助者養成講座研修講師及び東京都重点分野雇用創造事業「医師事務作業補助者活用ガイド」監修	企業	医療情報学科 助教 瀬戸 僚馬	300,000
計 (4件)			2,148,750

（平成23年度）

単位：円

受託研究の内容	委託先	受託教員	受入金額
ビフィズス菌の抗メタボリックシンドローム効果に関する研究	企業	医療栄養学科 教授 下田 妙子	1,000,000
医師事務作業補助者の活用に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	900,000
医師事務作業補助者の活用に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	100,000
計 (3件)			2,000,000

(平成24年度)

単位：円

受託研究の内容	委託先	受託教員	受入金額
医師事務作業補助者の活用に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	100,000
医師事務作業補助者の育成を通じたキャリアチャレンジ支援に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	280,000
計 (2件)			380,000

(平成25年度)

単位：円

受託研究の内容	委託先	受託教員	受入金額
医師事務作業補助者の育成を通じたキャリアチャレンジ支援に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	550,000
医師事務作業補助者の活用に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	300,000
疾患別看護セットデータ作成に関する研究	団体	医療情報学科 助教 駒崎 俊剛	1,890,000
酵素処理アスパラガス抽出物 (ETAS) の記憶障害抑制に関する研究	企業	東が丘看護学部 看護学科 講師 小宇田 智子	1,050,000
医師事務作業補助者の活用に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	550,000
乳製品摂取と健康に関する調査	企業	医療栄養学科 教授 下田 妙子	1,500,000
システムエンジニアを対象とした医療情報技師試験対策カリキュラムに関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	270,000
医師事務作業補助者の育成を通じたキャリアチャレンジ支援に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	150,000
紙媒体の電子化移行を通じたチーム医療の推進に関する研究	団体	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	420,000
医師事務作業補助者の育成を通じたキャリアチャレンジ支援に関する研究	企業	医療情報学科 講師 瀬戸 僚馬	100,000
計 (10件)			6,780,000